

TOTO

ハンドグリップ

施工説明書

YHB203型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

 <b>禁止</b>	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 <b>必ず実行</b>	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
 <b>禁止</b>	屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
 <b>分解禁止</b>	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 商品の破損や脱落により使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
 <b>必ず実行</b>	必ず強度のある壁・建築構造体*に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または、同等以上の下地に取り付ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。 ※詳細は <b>7. 手すりの取り付け</b> をご参照ください。
	必ず縦向きに取り付ける 横向きに取り付けて使用すると、商品が外れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。また、下側用のブラケットカバーを握ると、下側用のブラケットカバーが外れて使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	貫通した穴があるブラケットが上側となるように取り付ける 上下逆に取り付けてブラケットカバーを握ると、ブラケットカバーが外れて使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	必ず同梱のタッピングねじ、または当社指定の固定金具を使用し、指定の本数で取り付ける 同梱のタッピングねじ、または当社指定の固定金具を使用しなかったり、指定本数より少ない場合、商品がガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付ける 下地に十分な厚み・補強がないと、商品がガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する 商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

設置に関するお願い

■壁にフリクがある場合、ワッシャーなどでフラット面を確保してください。

## 2. 取り付け前に

## 取り付け前の注意

- 手すりを取り付ける壁に **十分な強度がある** ことを確認してください。
- 屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には **取り付けない** てください。
- 取り付けは **建物の構造に応じて適切な方法を選んで** ください。  
コンクリート下地の場合については別途固定金具をご発注のうえ、同梱の木下地用のタッピングねじで固定してください。固定金具必要個数は **3. 固定金具(別売品)** を参照してください。
- ハンドグリップをタイルに取り付ける場合は、厚さ24mm以上の構造用合板（JAS規格品）、または同等以上の下地材に取り付けてください。
- ハンドグリップは、壁仕上げ面がハイドロセラ・ウォールの場合は取り付けられません。
- 誤施工防止のため、注意書は取り付けが完了するまで外さないでください。

## 3. 固定金具(別売品)

＜固定金具一覧表＞

品番	T110D28
名称	樹脂プラグ
形状	 φ6×30
入数	20個

＜対象商品と使用ねじの本数＞

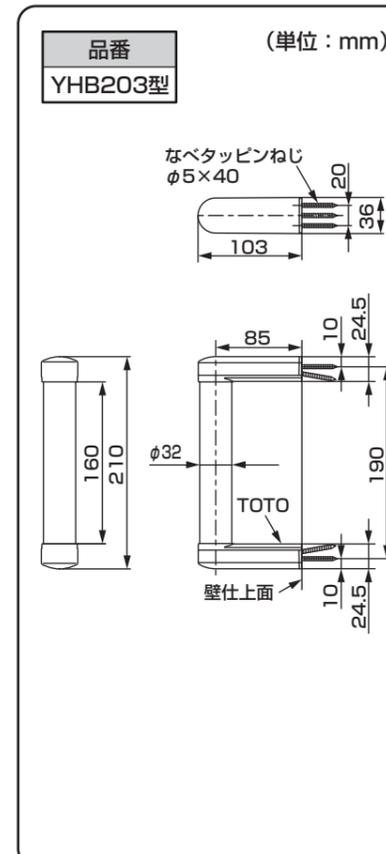
品番	ねじの本数
YHB203型	4本

## 4. 付属部品の確認

次の部品があることを確認してください。

付属部品	手すり部 (ハンドグリップ本体)	ブラケットカバー (上側用)	ブラケットカバー (下側用)	なべタッピングねじ	六角穴付き ボタンボルト
品番					
YHB203型	1個	1個	1個	φ5×40 6本	M5×12 1本

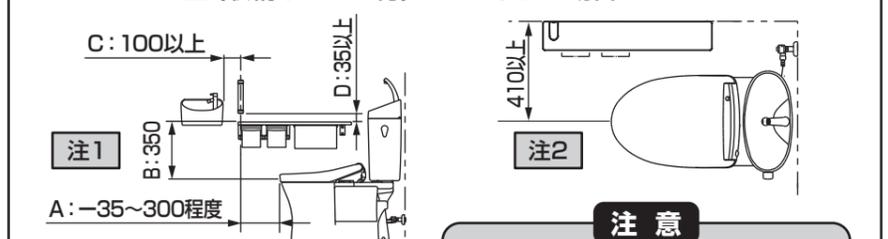
## 5. 完成図



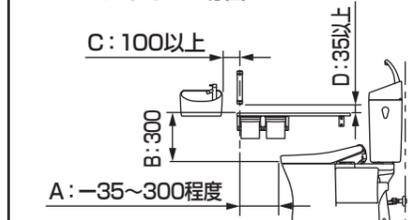
## 6. 取付位置

寸法は標準的な数値で示しています。使用者が特定できる場合は、その方の使いやすさにあわせて取付位置を決定してください。

＜YHB63NB型(収納ボックス付)とセットする場合＞ (単位: mm)



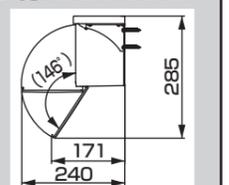
＜YHB63N型(収納ボックスなし)とセットする場合＞



- A: 便器先端からハンドグリップ本体中心までの寸法  
B: 便座面から棚上面までの寸法  
C: 手洗器側面からハンドグリップ本体中心までの寸法  
D: 棚上面からハンドグリップ本体下端までの寸法

- 注意**
- 注1: 収納ボックス付(YHB63NB型、YHB63FB型)の場合、便座の上から棚上面までの寸法は350mmに取り付けてください。
- 注2: 収納ボックス付(YHB63NB型、YHB63FB型)の場合、手すり取り付け壁から便器中心までの距離は410mm以上に取り付けてください。

収納ボックスの収納扉と便ふたが干渉するおそれがあります。



## 7-1. 手すりの取り付け

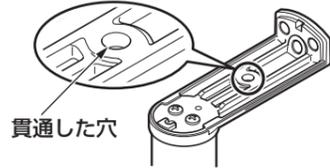
### 木下地：タッピンねじ固定の場合

固定金具品番 同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

- ①事前に補強木を取り付ける。**注1**
  - ②心出しをしたあと、φ3mmのなべタッピンねじの下穴をあける。**注2**
- ※タイル壁の場合は、タイル部のみφ7mmの通し穴をあけてください。

#### 注意

タイルに取り付ける場合は、厚さ24mm以上の構造用合板（JAS規格品）、または同等以上の下地材に取り付けてください。



#### 警告

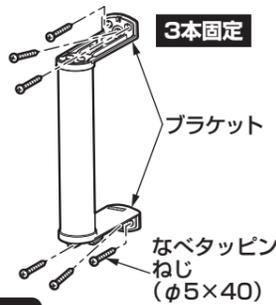
貫通した穴があるブラケットが上側となるように取り付ける

ブラケットを上下逆に取り付けて、ブラケットカバーを握るとブラケットカバーが外れて転倒し、けがをするおそれがあります。

- ③なべタッピンねじで固定する。

水平方向を先にけがいて下穴をあけ、手すりを仮固定して斜め方向の下穴をあける。

**注3**



#### 注意

インパクトドライバーまたは電動ドライバーを使用する場合は、全長150mm以上のビットを使用してください。全長150mm未満のビットを使用した場合、工具とブラケットが接触して、ブラケットに傷がつくおそれがあります。

#### 警告

**注1：**厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または、同等以上の下地材に必ず取り付ける12mm未満の場合は補強木をもうける補強木を取り付けないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

**注2：**φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する

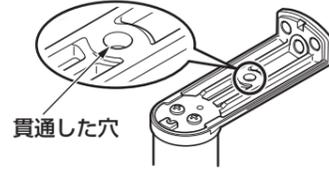
ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心揺れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

**注3：**なべタッピンねじを強く締めすぎて表面仕上げ材や合板・補強木などを破損しないように注意する

### コンクリート下地：プラグ固定の場合

固定金具品番 T110D28、同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

- ①心出しをしたあと、φ6mm、深さ50mmの樹脂プラグの下穴をあける。**注1**
- ②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。

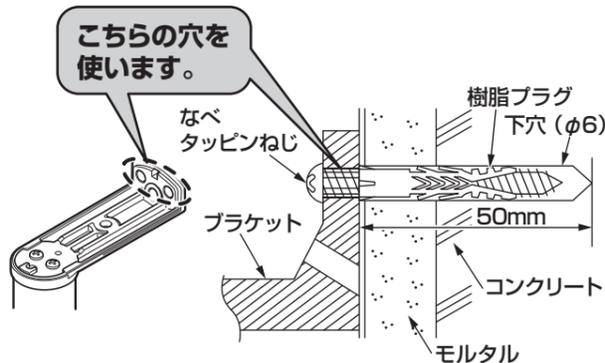
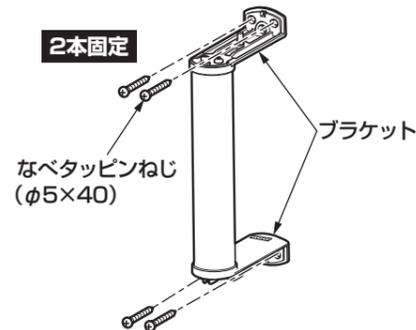


#### 警告

貫通した穴があるブラケットが上側となるように取り付ける

ブラケットを上下逆に取り付けて、ブラケットカバーを握るとブラケットカバーが外れて転倒し、けがをするおそれがあります。

- ③なべタッピンねじで固定する。



#### 警告

**注1：**φ6mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する

ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心揺れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

## 7-2. 手すりの取り付け

### ブラケットカバーの取り付け

<上側用のブラケット>

- ①六角棒レンチ（呼び寸法3）の長い方を使って、六角穴付きボタンボルトが突き当たるまで軽くねじ込む。
- ②六角棒レンチの短い方に差し替えてしっかりと締め付ける。（①の状態から45～60°程度）**注1**

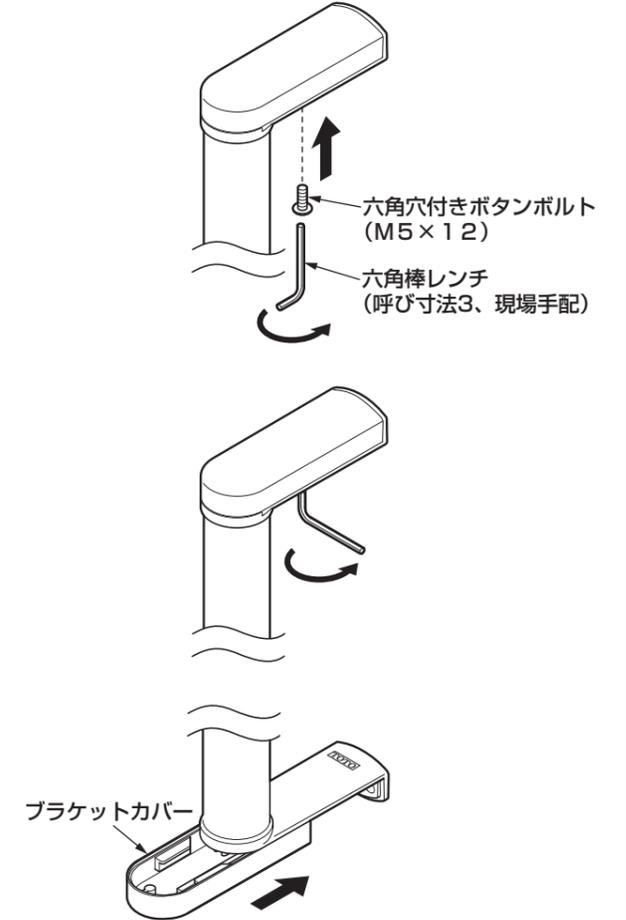
#### 警告

**注1：**ボルトは頭がなめない程度にしっかりと締め付ける

締め付けが足りないとカバーが外れて使用される方が転倒して、けがをするおそれがあります。

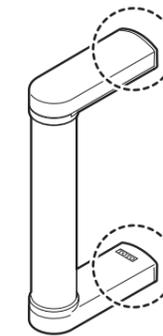
<下側用のブラケット>

- ③下側用のブラケットはカバーを矢印の方向に水平に押し込む。



## 8. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



### ガタツキの確認

手すりは壁にしっかり取り付けられていますか？

➡ **7. 手すりの取り付け**

参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。